

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 市バス運行業務委託事業
----------------------	--------------------------

区分	番号	名 称						
章	6	担いあうまちづくり						
節	9							
施策	9							
小分類	9							
主要な施策	9							
事務事業番号	004	事務事業コード	69999004	事業開始年度	昭和 5 2 年度	事業終了年度	平成 - 年度	

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市バス運行業務委託事業
------	------	------------	-------------

部 名	総務部	グループ名	総務 G
-----	-----	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記載してください) 市等が行う各種行事等の送迎
手段 (事業の内容・活動)	(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください) 市バス運行業務を民間に委託し、市等が行う各種行事等の送迎を行う。 バスの台数：2台
成果	(事務事業の実施成果を具体的に記載してください) 行政運営の効率化とコスト削減を図り、市バス運行の民間委託を維持する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください) 登別市車両管理規程

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	年間行事等件数	件	目標値	165	300	300	300	300
			実績値	314	/	/	/	/
	経費比較（目標値は委託前の経費）	千円	目標値	19,032				
			実績値	7,302	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	7,302	12,956	12,956	12,956	12,956	38,868
合 計				7,302	12,956	12,956	12,956	12,956	38,868
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	0	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		0	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市等が主催する行事への参加者の送迎を市が行うことは必要であり、直営の乗務員を確保せず、今後も民間委託を継続することが必要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 年度経費が民間委託前と比べると半分以下に抑えられている。 平成17年度委託前経費 19,032千円 平成22年度委託後経費 7,302千円
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 市で行う行事へ参加する人員の送迎については、全て民間委託により行っており、これ以上の成果向上は難しい。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成18年4月1日から平成23年3月31日まで委託契約済みであるため、これ以上の成果は望めない。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	行政運営の効率化とコスト削減を図るため、市バス運行の民間委託を維持する。
-----------	----------------------	--------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）